

町長室から

現天皇陛下

より、平成

31年5月1日から新たな年号に変わりますが、5月、6月と過ぎると平成の時代が残り少なくなっていく寂寥感が増してくるような気がしています。

役場では6月からクールビズで仕事をしています。

ノーネクタイですので、最初は少し違和感もあると思います。が、よろしくお願ひいたします。

例年であれば5月下旬から6月上旬にかけての北海道は俳句の季語にもなっている「リラ冷え」(リラとはライラックのこと)で、まだまだ肌寒い日が続くのですが、今年は季節はずれで29度、30度を記録する気温が6月前半に続きました。

ノロウイルス流行の兆しもあるようですし、中旬になって急速に温度が下がりましたので、これからは天気予報とにらめっこの季節になりそうです。

皆様には体調管理に十分気を付けていただきたいと思います。先日「生活安全推進協議会」の総会があり、池田警察署から昨

年北海道で交通事故でお亡くなりになった人は交通事故の統計では最も少ない148人だったが、シートベルトを着用していれば更に24名の尊い人命が救われていたということでしたが、改めてシートベルト着用が必要と感じました。

4人目の浦幌町アンバサダーを廣川冠太氏に委嘱をさせていただきます。

廣川氏は浦幌町観光プロモーションミュージックビデオ「浦幌の歌」を作詞作曲した地元出身のミュージシャンです。

現在は帯広市を中心にライブで活躍しており、今後浦幌町を発信していただくことに期待するものです。

先日、浦幌町昆布刈石で数千年前の寒冷な時期に氷の圧力で土が変形して形成されたものとされる「十勝坊主」が確認されました。

昨年の4月に町立博物館の持田学芸員が発見していたのですが、大学の地理学者が現地を周辺を整理して形状を確認し、6個がまとまった形で存在するこ

とを証明したものです。

既存の分布図が内陸部にあるのに対して、海に近い谷底の雑木林の中にあることに学者の皆さんは驚いたようです。

「国民健康保険事業実施計画」について庁内で協議をしましたが、国民健康保険加入者のうち特定検診の受診率については国が60%を基準としているのに対して浦幌町は平成29年度で約47%と低い数字となっています。

浦幌町の場合は重篤化してからでなければ医療機関にかからない傾向があるようですが、健康づくり、生活習慣病の予防効果には定期的な特定検診は必要不可欠です。

町民の皆様には是非年に1回の特定検診で健康維持を図られる事をお願いしたいと思います。

「千人踊りの会」が創立30周年を迎え式典が行われました。本会を創設されました皆様、そして、これまで活動を継続されてきました皆様には町民を代表して心から敬意と感謝を申し上げます。

「千人踊りの会」は昭和63年に

開町70周年事業の一環として創設された「浦幌音頭」の保存伝承と普及に寄与することを目的に、町民有志の呼びかけにより結成され、設立されました。

平成6年には浦幌町文化協会に加盟し、浦幌町文化協会の中核的役割も担っておられますが、これまで浦幌町の各種行事にも積極的に参加され所期の目的を果たされながら、浦幌町の花として活動を継続されておられます。

設立当時は170名を数えた会員も現在は若い世代の参加が無いという苦労もあるようですが、衣装は100人分が揃っているようですので、本式典を契機として会員の増強を図られて、今後とも浦幌町の文化を継承し、愛郷の輪を広げべく活躍されます事、また更に発展されます事を祈念したいと思います。

浦幌町長 水澤一廣